

# 第2回香美市地域公共交通活性化協議会

## 議事要旨

### 日時・場所

令和5年3月14日（火）午後2時～  
香美市役所本庁舎3階会議室

### 次第

1. 開会
2. 議事
  - (1) 香美市地域公共交通計画について  
(香美市の地域公共交通の現状基礎調査・住民アンケート結果報告他)
  - (2) 香美市地域公共交通活性化協議会の次年度改組について
3. その他
4. 閉会
5. 配布資料
  - (1) 会議次第
  - (2) 【資料1-1】香美市地域公共交通計画（案）
  - (3) 【資料1-2】香美市地域公共交通計画 住民アンケート調査報告書
  - (4) 【資料1-3】公共交通の図面（鉄道+バス）
  - (5) 【資料1-4】地域公共交通に関する現状の整理
  - (6) 【資料2】香美市地域公共交通活性化協議会の次年度改組について
  - (7) 【資料】人口と公共交通費用

会議状況



会議状況



## 議事要旨

### 1. 開会

- ・事務局：（開会挨拶）

### 2. 議事

#### （1）香美市地域公共交通計画について

- ・事務局：資料説明

#### 【質疑応答】

- ・委員： 1点目に、資料1-4でタクシーチケットをもっと配布して欲しいという声があるということだが、具体的な意見はどういうものか教えてほしい。  
2点目に、資料1-1の113ページに本市の公共交通への法的負担額が増加傾向にあり、約1億3,000万円あるということだが、この中の香美市旅客運送事業者経営維持支援給付事業600万円というのはコロナ対策の費用であると思う。本当に負担が増加しているのか。
- ・事務局： タクシーチケットに関する具体的な意見としては、1,000円の自己負担額をもっと下げてほしい、タクシー代がチケットを使っても少し高いという意見を聞いたことがある。  
113ページの負担額は令和2、3年度にコロナ対策としてその分高くなっているが、平成29、30、元年度を見ても約1億円の負担額があり、公共交通への負担額は大きいと思われる。
- ・アドバイザー： 1点目に、55ページの田井線の利用者数が、とさでん交通のデータとして令和3年度に47,522人とある。令和3年の10月からとさでん交通から嶺北観光自動車へ運行が移管されている。この輸送人員にならないのではないか。  
2点目に、46ページのドライブレコーダーで利用者数を確認しているのは面白いと思うが、2月に行った調査では、利用者数が年間で一番少ない頃だと思う。季節変動等を見ることができないのが残念である。

3点目に、64ページの路線での利用者数だが、休日は家族連れが多いので、平日と休日を分けると違った傾向を見ることができないのではないかと思う。ジェイアール四国バスの場合、ICカードデータがあると思うので、整理するとわかるのではないかと。

・事務局：55ページは指摘通り、令和3年10月から嶺北観光自動車へ移管され、1日3便に便が減っているので、その分減少になっていると思う。

46ページは委託の関係で2月の調査になっているが、6月または7月に可能であれば検討したい。

64ページは指摘通り、休日はアンパンマンミュージアムを訪れる家族連れの利用者が多いので検討したい。

・会長：ICカードデータで、調査した日と整合した過去のデータを集計してはどうか。

・委員：資料1-2の1ページの調査概要に無作為で抽出しているといった明記が必要だと思う。

・事務局：そのように修正する。

・会長：各交通手段別に利用頻度を聞いているが、重要なのは利用者の満足度を把握することが大事だと思う。利用者に関するクロス集計を出すことは可能か。

・事務局：クロス集計は可能なので、検討したい。

・会長：1点目に、63ページで若い人の満足度が意外と高いと思った。高齢者などの移動手段を考えるのは当たり前であるが、若い人の満足度をもっと上げることも大事であると思う。

2点目に、自由意見の中に柔軟な運賃や定額での利用を求めるものがあるが、路線が同じ公共交通を月5,000円などの定額で利用することは可能か。また、自動運転等、今無いものに対して市民の社会受容性を次年度に把握することは可能か。

・事務局：定額利用に関しては予算の関係があるが、意見を聞きながら検討したい。自動運転の計画への盛り込み方も検討課題になると思う。

・会長：今無いものに対する市民の意見をアンケートやヒアリングの場で聞くことは可能か。

・市長：アンケートをとることはできるが、無いものに対してどれだけの市民が答えられるのかが不明である。また、複数の公共交通を定額利用にした場合、利益配分をどうするかという問題がある。

・会長：並行した路線に対して同一の定期券が利用出来る事例があるのではないかと。

・委員：四国旅客鉄道が香川県で、便数が少ない時間帯に並行して走っているバスを活用してJRの定期券を利用出来る実証実験を行っている。

・事務局：現在、ジェイアール四国バスが1日乗り放題で700円というものがある。市営バスは75歳以上が無料で、学生は定期であればほぼ無料で利用できる。複数の公共交通を一緒にするのは検討の課題である。

・会長：資料1-1の情報データを地図上で見られるようになれば良いと思う。

- ・アドバイザー： 高齢者の方は午前中の移動が多い傾向にあると思うが、路線によっては午前中に乗ると夕方まで帰る便が無いものがある。しかし、資料1-1の78ページを見ると利用者は少なくない。コロナ禍が始まった令和2年度以降減少していない路線は生活に密着した路線だと思う。必要としている人はこのままのダイヤで良いのかと思う。公共交通の運転手の協力で利用者に対するアンケートをとることは可能か。
- ・事務局： 6月または7月に山田・香北・物部で3ヶ所ずつ自治会長や公共交通利用者の生の声を聞きに行く予定である。アンケートに関しては検討する。
- ・市長： アンケートをとることは出来るが、便数を増やしてほしいという意見が出るのは目に見えている。それを実現するために実際どれぐらいの費用がかかるのかを市は情報として欲しい。
- ・アドバイザー： アンケートは要望を聞くのではなく、日々の事実を聞く方が良いと思う。朝出掛けて夕方まで帰れる便が無いのに利用者が多いのが疑問である。
- ・委員： この路線は通学の利用者がほとんどで一般の方の利用者は少ない。
- ・アドバイザー： 一般の方が利用したくてもできないということはないのか。
- ・委員： 鉄道との乗り継ぎが時間的に難しいという声があるので、調整して利用してもらうことは可能である。
- ・事務局： 乗り継ぎに関しては、令和4年4月に香北観光と相談して、谷相線の時間を少し早くしてジェイアール四国バスの美良布から山田駅の大柵線に乗れるようにした。

## (2) 香美市地域公共交通活性化協議会の次年度改組について

- ・事務局：資料説明

### 【質疑応答】

- ・質疑は特になし

香美市地域公共交通活性化協議会設置要綱

香美市地域公共交通活性化協議会事務局規程

香美市地域公共交通活性化協議会財務規程

香美市地域公共交通活性化協議会の報酬及び費用弁償に関する規程の承認を得た。

## 3. その他

- ・その他議事は特になし

## 4. 閉会

- ・事務局：（閉会挨拶）

以上